

# 会 議 録

## (1)会議概要

会 議 名	平成 29 年度 第 4 回泉大津市参画と協働のまちづくり推進会議		
開 催 日 時	平成 30 年 3 月 13 日 (火) 19 時～21 時		
開 催 場 所	泉大津市役所 3 階 301 会議室		
出 席 者	委 員	久委員、大久保委員、高寺委員、湯川委員、忠岡委員、三井委員、岡根委員、小橋委員、川上委員	
	そ の 他		
	事 務 局	吉田総合政策部長、橋本人権市民協働課長、野村人権市民協働課長補佐、山本市民協働推進係長、川真田係員	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0 人
会 議 次 第	1 開会 2 平成 2 9 年度事業報告について 3 平成 3 0 年度の取り組みについて 4 その他 5 閉会		

(2) 議事内容

○以下、事務局による進行

1. 開会

- 吉田総合政策部長あいさつ
- 委員紹介、事務局紹介
- 会長、副会長の選出
- 会長あいさつ

○以下、会長による進行

2. 案件

①事務局より「平成29年度事業報告について」を説明（記録省略）

その後、委員による質疑応答

**委員からの主な意見・指摘事項等**

■ **パブリックコメントについて**

市民に分かりやすい形になっているか疑問である。パブリックコメントを行う前に説明会を開く、概要版等を作成するなどの工夫が必要である。読みたくなる見た目も重要である。また、「言っても反映されない」という意識、パブリックコメントに対しての行政側の対応（返答されるのか、どのような返答方法となるのか）が市民にとって不明瞭となっている点も問題である。

■ **市民活動団体の援助について**

がんばろう基金をより拡充し、様々な活動を援助していくことが必要である。

市民活動支援センター（おづぷらざ）は利用者が増加傾向であり、良い兆候である。団体と個人、団体と団体を繋ぐ重要な役割を担っている実例も実感もある。どのような団体がどのような活動を行っているのか、または行おうとしているのか情報発信することで似た事業を行っている団体が連携出来たり、活動の輪が広がったりする。参加から参画へは非常にハードルが高いが、まずは情報発信により知ってもらうことから始める必要がある。

②事務局より「平成30年度の取り組みについて」を説明（記録省略）

その後、委員による質疑応答

#### 委員からの主な意見・指摘事項等

##### ■ 市民活動団体情報掲載基準（案）について

年3回ではなく、もっと増やすべきではないか。団体と事業は分けて考えるべきである。同じ事業を繰り返し掲載するのは別だが、同じ団体が様々な事業を展開していることがあり、3つの事業を選べというのは難しいことである。おづぶらぎニュースではおづぶらぎ利用者のみの配布となるが、広報紙は全戸となり非常に広範囲になる。積極的に活用できるような枠組みが必要である。また広報紙やおづぶらぎに限らず、FM泉大津やコミュニティ紙、地元のテレビ局など様々な方法があるので枠組み作りが出来れば良いと考える。

③事務局より「その他について」（事務連絡：機構改革により2課へ別れる予定）を説明

その後、委員による質疑応答

#### 委員からの主な意見・指摘事項等

##### ■ 人材育成について

職員の意識啓発促進をお願いします。

○以下、事務局による進行

3. 閉会（記録省略）